

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
1	3	1	3			75ページに及ぶ総合計画を読み解くのは大変でした。1. 文書を読む限りとても心地よい気持ちになります。けれど、具体的に実施していくには大変なことです。ISOの手法を参考にしたいと考えます。2. 部門別の計画は、記載されています。横の繋がりを表す言葉がほしいと思います。	いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
2	5	1	4	2	政策展開の方向	2. 政策展開の方向ですが、それぞれ必要なことが書いてあると思います。しかし、地域が活性化している街を見るとある明確なビジョンがあり、そこに向けての政策をとっているように思われます。松戸市も何か1つ大きなビジョンを掲げ、そこへ向かうための政策展開があるのであれば市民も行動しやすいと思います。人口減少が大きな課題だと思うので、「若者が住みやすい街」や「子育てがしやすい街」へ向けての行動が必要だと思います。	いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
3	5	1	4	2	政策展開の方向	空き家の問題が抜けてると思います。空き家を有効利用し、各地地域や町会によって課題は違うと思いますが、その課題の解決の場として空き家を有効利用し、そこにカフェや教室等を組込み人が交流したり、また市の情報の発信の場などにする事で、色々なことが交わり、また活動の「見える化」が起きると思います。さらには、その各空き家をネットワークでつなぐことで、情報の交換や市で起こっていることに市民も興味を持つのではないのでしょうか。	空家対策につきましては、「松戸空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、管理不全の空家等の調査を行い、当該所有者に指導や助言を行っているところであります。いただきましたご意見は、今後の空家対策を検討するうえで参考にさせていただきます。	無
4	11	3	1	1	市民と行政の協働を推進します	・めざそう値 「中間支援分野で活動している団体の割合」が過去3年間で変化がない(8.1%)のに、これから3年間で倍増(15%)できることの根拠が不明である。 (従前と変わらぬ事業活動を計画しているなら、それが達成できる根拠が必要)	後期基本計画最終年度(平成32年度)のめざそう値が40%であり、その途中経過として15%を目指しています。 また、その達成も含め、既存制度の見直しなどに着手しているところであるので、ご理解をいただきたいと考えております。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
5	12	3	1	1	市民と行政の協働を推進します	目標「適正な補助を行います」は手段であって目標ではない。それとも、現在は不適正な補助が行われており、それを是正するのが目的・課題なのか？せめて、(補助金)予算の消化率や交付先の満足度評価にしたらどうか。(十分ではないが)	市は、町会・自治会が主体となって行う集会所の建設・修繕を支援しております。限られた予算の範囲で新築や修繕の補助を行うことから、目標を「適正な補助を行う」としていません。今後、ニーズに合った補助制度について調査研究してまいりますので、ご理解をお願いします。	無
6	12 13	3	1	1	市民と行政の協働を推進します	①中間フェーズ(第5次計画)の目標が「研究」では、時期的に遅いのではないかと。中間フェーズでは、研究報告と実施体制の構築とし、最終フェーズ(第6次)で実施と効果測定をすべし。	No.3 市政協力委員制度の見直しについては、新たな制度について引き続き研究してまいります。慎重な検討と議論が必要ですので、ご理解くださいますようお願いいたします。 No.5 第5次において他市の視察も含め研究を進めてまいります。その進捗状況によっては、報告までさせていただきたいと考えておりますので、ご理解のほどお願いいたします。	無
7	12	3	1	1	市民と行政の協働を推進します	市からお金をもらっていないながら、その役目を果たす意識の乏しい市政協力委員が少なからずいることは理解している。しかし、地域連携の問題は市政協力委員制度だけではない。この制度問題に時間をかけすぎ。町内会などの組織の規則整備推進を含めた地域活動組織の透明化を早急に進めてほしい。それによって、多くの市民がその組織を理解し、活性化の議論が進展すると考える。	市政協力委員制度の見直しについては、引き続き慎重な検討と議論を重ね、新たな制度について研究してまいります。 また、町会・自治会は自主・自立的な組織であることから、規則の整備等については市として支援をしております。相談への対応、説明を随時行っておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。	無
8	12	3	1	1	市民と行政の協働を推進します	政策1 (No.3) 検証と研究は目的にはなじまないと思います。地域の連携が取れていないという解決すべき課題があるのなら、単なる研究ではなく、「現制度を検証し、新たな制度の導入あるいは現制度の大幅改定を行います。」とでも謳わなければ実施計画における成果達成判断としての目標として挙げる意味がないように思えます。(なぜなら行政は執行機関であり、研究機関ではないからです)	市政協力委員制度の見直しについては、新たな制度について引き続き研究してまいります。慎重な検討と議論が必要と考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
9	12	3	1	1	市民と行政の協働を推進します	課題と目標がごっちゃになっていると思います。取り組むべき課題は、「地域の活性化を推し進めるため、よりよい地域の仕組みづくりについて検討します。」で、第5次の目標は「新たな地域の仕組みづくりを検討するため、モデル事業を実施します。」と考えます。	地域の仕組みづくりについては、検討と議論を重ね、モデル事業の試行に慎重に取り組んでまいりますので、ご理解をお願いします。	無
10	15	3	1	2	一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくります	市役所職員の(人権)教育が行政課題になることが本質的問題。自ら立てた目標を自らが評価することに何の意味があるのかが疑問。目標は、市民からのクレーム数など、第三者的尺度にすべき。	人権侵害の予防については、自らの姿勢の気づきの機会を用意することが不可欠であり、その意味で職員研修や自己評価は大変に意義深いものであると考えています。侵害された人権についての対策としては、ご指摘のような第三者の視点が有効であり、これについては「取り組み課題」No8として人権擁護委員による人権相談のシステムを挙げています。	無
11	15	3	1	2	一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくります	人権意識の向上は、全市民に対して啓発されるべき課題だと思います。目標が講演会参加者という限られた中での数値向上というのでは、実態がうまく反映されていないのではないのでしょうか。他の問題でもそうですが、講演会に参加する市民と、そうでない市民とでは、問題の認識度に大きな差があります。目標値として、もっと適切な指標はないのですか？	数量的に計られる市民総体の意識の変化は、目指そう値「身のまわりで人権が守られている人の割合」に掲げており、ここでは具体的な取り組みの効果を測る質的な指標として、「理解が深まった割合」を採用したものです。しかしながら、そもそも、人権啓発が、或る特定の考えの刷り込みではなく、市民の自由な反応や思考の展開の結果として成り立つものである以上、ほんとうの意味で「向上したか否か」を判断できるのは、自身以外にはありません。ですから、人権意識の向上はおっしゃるとおり「全市民の課題」ですが、正確に言えば「一人ひとりの市民の課題」であると言えます。個人の内面や意識の変化の全容を、簡単に数値化できるとは考えておりません。これは、市が、「一人ひとりの人権の尊重」を掲げる根拠の一つでもあります。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
12	17	3	1	3	男女共同参画の地域社会をつくります	目標の「推進グループ登録数」の増加が、すなわち男女共同参画社会に対する市民の意識向上ということになるのでしょうか？	男女共同参画社会を推進していくためには、社会通念や慣習等に対する市民の意識・価値観を変えていく必要があります。そのため、推進活動をする上で、市民の理解、協働が欠かせません。男女共同参画推進グループは、推進拠点の女性センターゆうまつどで活動し、男女共同参画を推進するパートナーです。より多くの男女共同参画推進グループが、多様な分野で活動し、啓発し、その輪が広がっていくことで、市民の意識向上につながっていくものと考えております。なお、[目標]につきましては、他にも多数考えられることと思いますが、1つの取り組み課題に1つの目標を掲げる形式となっておりますので、左記のとおりにさせていただきます。ご了承いただければと思います。	無
13	18	3	2	1	健康に暮らすことができるようにします	「生きがい感をもっている人の割合」は、19年度以降急激に落ち込んでいる。それを、32年度に19年度時点までに引き戻そうといった全体計画であるが、その施策対象が「高齢者」のみというのは、あまりに決め付けが過ぎるのではないか。全世代への課題解決向け施策が必要と考える。	生きがい感については、個人の置かれた状況や経済・社会現象など多くの要因が影響を与えていると思われませんが、計画書に記載されている事業に限らず、様々な事業を通じて生きがい感の向上を図ってまいりたいと考えております。例えば、市民意識調査の結果から、生きがい感と本人の健康感には相関関係のあることが見られます。このことから、健診や保健指導など各種健康施策による本人の健康感の向上は、全世代の生きがい感の向上につながるものと考えております。	無
14	18	3	2	1	健康に暮らすことができるようにします	下部の「将来像」はきちんと説明されていますが、柱部分で「健康に暮らすこと」となっており、この表現では、身体的健康のみに限定してとらえられるおそれはないのでしょうか？	後期基本計画では政策展開の方向を定めており、その中の第2節第1項に「健康に暮らすことができるようにします」と定めております。この政策におきましては、①生きがいを持ちます②病気を予防し、早期に発見します③病気を治します④受療環境を整備しますと4つの施策を展開しております。ご理解いただければと存じます。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
15	20	3	2	1	健康に暮らすことができるようになります	現在のがん検診が、がんの早期発見について本当に有効かが疑問である。よって、現行がん検診の受診率を高める施策の前に、経済的有効性の検証が必要であろう。早期発見された事例は否定はしないが、費用対効果（検診補助費対早期発見による医療費削減）を考慮したものにしてほしい。たとえば、精度の低い胃レントゲン検査を続け、検査費用が若干高くなるが、高い精度の内視鏡検査をしないのは、病院も含めた検査側の事情ではないか。特に財政状況が厳しい国保の健康保険費用抑制につながるために。	がん検診は、健康増進法に基づき、がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡を減少させることを目的に実施しております。がん検診の実施方法につきましては、検査の有効性、安全性、費用対効果等の面から、段階的な検診を実施することが国の指針において示されております。つきましては、本市におきましても、行政が多くを市民を対象に実施する検診方法としまして、国の指針に則った検査方法を継続してまいりたいと考えております。	無
16	20	3	2	1	健康に暮らすことができるようになります	P17 (No14) 松戸市は放射能ホットスポットになってしまった。今後子どもたちの健康が心配される。「子どもたちに甲状腺ガン」がでないをめざす成果に入れてほしい。	がん検診は、検査の有効性、安全性、費用対効果等の面から、検診の種類、対象者、実施回数、検診項目等が国の指針において示されております。つきましては、本市におきましても、行政が多くを市民を対象に実施する検診方法としまして、国の指針に則った検査方法を継続してまいりたいと考えております。	無
17	20	3	2	1	健康に暮らすことができるようになります	課題の「環境を整備」とは具体的に何を想定しているのでしょうか？健康増進のための教室当の開催であれば、環境整備というよりは、「啓発活動」の表現のほうが近いと思います。単発のイベントではなく、健康増進に直接結びつくような継続的な教室を、市施設を利用して行うのであれば、その旨具体的に記載する方がよいと思います。	運動についての啓発と共に、地域の中で運動ができる仲間や施設、場所等の情報提供等、ハード面・ソフト面両面からの、生活の中で運動できる環境整備の推進を図ります。	無
18	21	3	2	1	健康に暮らすことができるようになります	健診の受診率を倍増(29.8%→55%)する計画であるが、松戸市特定健康診査等第2期実施計画にあるように、未受診の約半数(45.8%)が特定健診と検査項目が重複する「治療中」である。とすれば、「治療中」以外の2/3以上の未受診者が健診を受診する目標になるが、今後3～4年で実現できるのか。あるいは目標達成できる事業計画になっているのか。目標達成は現実的ではないのではないか。	受診率向上対策として、集団健診を実施し年間の実施回数の増加等を改善していきます。達成目標率については、国策としての目標を示しているもので松戸市としても、それに近づけるよう努力いたします。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
19	21	3	2	1	健康に暮らすことができるようにします	ジェネリック医薬品への切り替えは、患者の意識だけではない。ジェネリックを求めても薬局で準備していないケースが多い。また医師も近くの薬局の在庫にあわせて処方する。(該当薬のジェネリックがあることも知らない薬剤師もいる) 薬局や診療所(地域連携をうたっている)にも働きかける施策が新たに必要である。	松戸市医師会・薬剤師会と連携をしていますが更に関係を強化をし、昨年度からジェネリックへの変更差額通知を被保険者へ送付しており現在も継続しております。	無
20	21	3	2	1	健康に暮らすことができるようにします	適正運営をいうなら「保険料の算定方法変更」を追加してほしい。問題は『現行制度は保険料負担が不公平』なことである。理由を以下に述べる。 - 保険料は、人头割り/所得割り/世帯割りで構成されるが、松戸市の場合、周辺自治体に比べて所得割の率が非常に高く、その他が低い構成になっている。- この方法が問題なのは、所得の捕捉問題である。旧来から「10・5・3・1」や「9・6・4」と評された所得捕捉格差があり、給与生活者や厚生年金生活者に比べ、自営業者などは所得捕捉率が著しく低い。これは、現役時代およびリタイア後も同様である。国保保険料の支払者の多くは、厚生年金生活者および自営業や農業従事者の現役とOBであろう。とすれば、見かけ上所得が多く見える厚生年金生活者が、他の産業従事者(およびそのOB)に比べて著しい不利益を被ることになる。(厚生年金の所得比例部分は現役時代の貯金の取り崩しと考えるべき。一般的預貯金の取り崩しは所得とはみなされない) 所得割り以外を増額してでも、せめて柏市なみの所得割りの率にすべき。また、富裕層への負担増を求めるなら、すべての資産を加味した保険料算定にすべきである。	次期、保険料率改定時に偏重の改善と保険料の適正化を検討します。	無
21	23	3	2			松戸市単独では困難な面もあるかと思うが、施設介護と居宅介護、同じ介護度であれば、施設介護サービスを切り下げてでも、両者同額のサービスとすべし。でなければ、居宅介護は進まない。居宅介護をする人は、介護のためのコスト(介護のために働き方を変えるなど)を介護保険以外の目に見えにくいところで負担していることに留意すべきである。	介護保険制度に関することであるため、実施計画事業としては掲載しませんが参考とさせていただきます。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
22	23	3	2	2	病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします	<p>1目標に記されている「大幅に増やす」の大幅とは、どの程度をいっているのか。具体的な数値を掲げるべき。抽象的表現は目標の達成度が評価できない。また、めざそう値への貢献度もわからない。</p> <p>2目標の指標に就労支援プログラム実施者数を使用しているが、取り組み課題では、情報提供による支援となっている。実施内容と評価指標にギャップがある。他の要因も組み合わせる効果(=副次効果)の指標となっている。指標を就労支援プログラムの認知率や理解度に変更すべき。</p>	<p>1現在の就労支援対策としては、就労に阻害要因がない稼働年齢層(15歳から64歳)の方に対して、現状の雇用形態や職業スキルの変化等に対応した就労支援を行い、自立促進を図っております。しかし、被保護者の約40%が高齢者であることから就労支援を促進することもできない状況もございます。また、「就労意欲があるが、就職先が見つからない方」「就職しているが、低収入である方」「求職活動を長期行うが就職することができず、就労意欲が喪失した方」など、さまざまな問題を抱えており、その問題を解決する対策を講じておるところでございます。このような現状を踏まえた目標設定であることをご理解賜りたく存じます。</p> <p>2情報提供による支援ではないかのご意見を頂きましたが、就労支援プログラムでは、履歴書の書き方から面接の受け方、就職案件の紹介、ハローワーク等への同行、更には就職企業の開拓など、就職に結びつけるための様々な対策を講じております。また、就労プログラムにおいて就労する意欲も喚起しておるところです。ご理解賜りたいと思います。</p>	無
23	23	3	2	2	病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします	<p>基幹相談支援センターは発足間もないので、まずは民生委員等、関係者への周知を図ってほしいものです。</p>	<p>民生委員児童委員の方々にはオープン前に説明をし、パンフレットを送付させていただきました。また、関係する事業所や学校等へも啓発活動は行ったところではございますが、今後も当事者の方を含め、更なる周知に努めてまいります。</p>	無
24	24	3	2	2	病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします	<p>生活保護の不正受給については、現在は違反者の把握も含め、不正を正すフェーズではないか。(現在の摘発は氷山の一角)とすれば、摘発件数の目標は増加させなければならない。摘発活動を緩めれば摘発件数は減少するので、適正な目標にはならない。</p>	<p>ご意見を頂きましたとおり、不正受給防止対策を強化することで、一時的に不正受給件数が増加することも予想されますが、一方で不正受給対策を強化し、その対策、取り組みを被保護者に周知徹底することで抑止力に繋がり、新たな不正受給の発生は減るものと考えております。その結果、市民の方から不公平感が生じないよう適切な生活保護制度を確立していきたいと考えております。</p>	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
25	25	3	2	2	病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします	取組み課題の文中に「個人情報保護も考慮した」を入れてほしい。理由を以下に記す。先日、要支援者の希望調査が、こともあろうに『町内会の回覧』で名簿記入として回ってきた。幸い、誰も記入していなかったのが問題にはしなかったが、市職員および町内会役員の個人情報保護の意識の低さには驚き、怒りさえ覚えた。該当者を、できるだけ漏れなく把握したいのであれば、案内は回覧であっても申請は関係者のみとするなど、工夫があつてしかるべきだと考える。また、体制は行政のみならず、町内会も関係する。とすれば、町内会側の関係者への個人情報保護教育も必要となる。	他町会より同様のご意見をいただき、回覧での登録希望の確認はやめ、現在は対象者に個別に案内を郵送するよう実施方法を変更いたしました。	無
26	25	3	2	2	病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします	災害時の支援体制はこの民生委員の活動にとどまらず、消防団、自治組織や学校も含む地域ごとの二重三重の支援体制が不可欠と考えます。したがって今後検討される政策1の地域の仕組みづくりの中でも検討されるべき課題と考えます。担当課の連携は当然考えられているのですが、計画の文中にも関係各課の連携が見える方がよいと思います。	災害時の支援体制については、ご指摘のとおり地域の仕組みづくりの中でも検討されるべきものと考えます。 貴重なご意見として承ります。	無
27	26	3	2	3	安心して子どもを産み、健やかに育てることができるようにします	・めざそう値について 「子育て満足度」が現状値(24年度)に比べて、めざそう値は低下している。(91.6%→90%)満足度を低下させる理由はない。-最終のめざそう値をアップさせる。-現状維持施策のみを実施。その他の施策はストップのいずれかを選択すべし。	28年度の「めざそう値」としては、第4次実施計画期間での「めざそう値」と同様に90%を維持していくものとなりました。なお、32年度の「めざそう値」については第6次実施計画策定時に現状を踏まえ見直しを行います。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
28	29	3	2	4	市立病院として高度で良質な医療を提供します	<p>・めざそう値について 「患者満足度」が現状値(24年度)に比べて、めざそう値は悪化している。満足度を悪化させる理由はない。-最終のめざそう値をアップさせる。-現状維持施策のみを実施。その他の施策はストップのいずれかを選択すべし。(満足度を悪化させようとする市民病院は必要ない)</p>	<p>「患者満足度」のめざそう値につきましては、悪化させることなく現状維持はもちろんのことさらに向上させてまいりたいと考えております。平成32年度のめざそう値は、後期基本計画で定めためざそう値を掲載しております。また、第5次実施計画期間でのめざそう値は平成28年度のめざそう値となり、このめざそう値については、平成24年度の現状値を踏まえて設定しております。平成32年度のめざそう値については、第6次実施計画策定時に現状を踏まえ見直しを行う予定です。なお、平成28年度と平成32年度のめざそう値についての説明を第5次実施計画書の第3節「計画書の見方」に記載いたします。</p>	有
29	29	3	2	4	市立病院として高度で良質な医療を提供します	<p>・めざそう値について。 逆紹介率は上げたいのか/下げたいのか?松戸市立病院のホームページ「活動・取り組み」を見て、逆紹介率をアップしたいと理解したが、それならば、第4次計画で上昇した逆紹介率(H24年度)を、なぜ第5次、第6次の計画でダウンさせようとするのか、理解不能である。理由を明示すべし。</p>	<p>逆紹介率につきましては、適正な逆紹介率が検証されておりませんので、地域医療支援病院承認要件の逆紹介率60%以上を設定したものであり、意図的に減少させてはおりません。</p>	無
30	29	3	2	4	市立病院として高度で良質な医療を提供します	<p>32年度の数字は後期基本計画での最終目標値と考えますが、この数字は新病院のオープンを反映させた数値ですか?それとも現病院存続を仮定しての数字ですか?いずれにしても、どちらを踏まえた数字なのかを付記すべきと思います。</p>	<p>32年度のめざそう値につきましては、ご案内のとおり後期基本計画策定時のものとなります。今回は修正せず、次期策定時に見直しを図りたいと考えております。</p>	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
31	30	3	2	4	市立病院として高度で良質な医療を提供します	<p>取組み課題の「循環型地域医療連携」がいかにか無駄に医療費を浪費しているか、いつになったら気づくのだろう。風邪などのスポット的な病は良いとしても、生活習慣病など長期にわたり投薬が必要な病気は、大病院で受診し、院内処方すれば薬剤費を除く医療費は大幅に削減できる。(現在の保険制度では、かかりつけ医(診療所受診)、医薬分業が無駄な医療費の元凶)せめて松戸においては、下記の施策を行ってほしい。1)松戸国保保険者で自己負担比率が少ない70歳以上の長期通院者を重点対象に、医療費が安くなる方法を啓蒙する。(利便性のみの理由で従わない患者は国保保険料を割増してもいいと思う)2)松戸市立病院は、医療従事者の確保、院内処方体制や予約体制などの充実をはかり、積極的に1)の患者を受け入れる。国保は本計画の対象外かもしれないが、松戸市立病院も含めた財政改善が図れる。</p>	<p>国・県の医療政策に基づき、病院運営を行っておりますので、ご理解賜りたいと存じます。</p>	無
32	30	3	2	4	市立病院として高度で良質な医療を提供します	<p>新病院進捗が紆余曲折しているようですが、ここ3年の取り巻く環境の大変化、今後の経済予測の不透明、国の公共投資乱発の土木建築業界インフレへの大変化を考え、方針転換の施策が得策と考えます。 具体的には、現病院を改修で維持できるところまでとし、新設はあきらめる。 現病院は、民営化、または売却し、民間経営に移管する。 東葛地区の中核病院は返上する。 民間病院の積極的誘致を押し進め、立地紹介、行政が積極的に活動する。(民間病院の新設は、市民の不安解消で安心は増し、税金にも寄与する。)等が考えられます。</p>	<p>千駄堀地区新病院建設事業につきましては、病院建設に向け準備を進めておりますので、ご理解賜りたいと存じます。</p>	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
33	32	3	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	全ての子供たちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにして頂きたい。計画の中に、高校卒業後に経済的な事情等で大学や専門へ進学することを断念する子供達がゼロになるよう、計画を盛り込んで頂きたいです。また、塾などへ通えない子供達も、やる気さえあれば進学校に入れるような、学校での進学対策等も実施して頂きたいです。子供達は地域の財産です。家庭の状況に関わらず、全ての子供達の可能性を最大限に引き出してあげるような、本気の政策を、是非策定して下さい！！期待しております！	学校教育部では義務教育(公立小学校中学校)に通う子供たちが対象となっております。経済的な理由で学校生活が送れないということがないように就学援助制度を実施し必要とする家庭に支援が行き届くよう努めております。貴重なご意見ありがとうございます。	無
34	32	3	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	「目標を持って学校生活・・・」のめざそう値について、28年度より32年度を悪化させる理由は何か。理由を明示すべき。または最終年度値の改定を行うべきである。その下段「授業が楽しい・・・」も同様。	平成32年度のめざそう値は、後期基本計画で定めためざそう値を掲載しております。第5次実施計画期間でのめざそう値は平成28年度のめざそう値となり、このめざそう値については、平成24年度の現状値を踏まえて設定しております。平成32年度のめざそう値については、第6次実施計画策定時に現状を踏まえ見直しを行う予定です。なお、平成28年度と平成32年度のめざそう値についての説明を第5次実施計画書の第3節「計画書の見方」に記載いたします。	有
35	33	3	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	課題内容からみて、31ページの施策「安全な環境で・・・」に移動すべし。	いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
36	33	3	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	子どもの学力差が家庭の経済の差に表れていません。学力に差がない低学年の内から、救える施策を考えたいと思います。将来の松戸を背負っていく力・自立して(就労)生活していく力にも関わりがあります。	子どもに基礎基本を定着させることは本市教育施策の柱であり、大きな使命と認識しています。教育課程の工夫や少人数指導、放課後補習教室など創意工夫して取り組む学校へスタッフ派遣をするなどで低学年から支援を進めております。	無
37	34	3	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	目標が「検討会議の設置」では意味がない。これは手段であって目的達成のための目標ではない。たとえば、「研究成果の中間または最終報告」など目的達成のためのマイルストーンでなければならない。	検討会議を設置して研究を進めることが目標です。ご指摘いただいた部分を修正します。	有

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
38	34	3	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	市立高校において、「明確な経営理念を持った人材の登用」とは具体的に校長人事のことではないかと推察しますが、これは今までの市教委と市立高校との関係を見直すことを意味していますか（たとえば外部・民間校長の登用など）？その場合、バッティングする可能性ありえますが、どのように調整するのですか？	市立高校の管理職人事は市教委が県教委と協議しながら進めております。市の教育施策を更に積極的に推し進めていける人材を配置してまいります。	無
39	35	3	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	第5次期間内で全校全教室に設置するということですか？それとも全校ではあるが、各校の一部教室（普通教室、職員室など）ということですか？冷房は設置コストもさることながら、ランニングコストも無視できない額になると思われますので、目標には設置範囲も明記すべきだと思います。（そうでなければ、今後記載される事業費欄の評価ができないので）	各校の普通教室、職員室、一部特別教室等の設置を予定しています。明記の有無に依り後続の評価等への支障は無いものと考えています。	無
40	37	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	まなびいネットへの登録資格を緩やかにし、登録情報の拡大を進めるべし。公民館管轄以外の学習活動（たとえば市報の掲載情報）も同ネットに登録すべし。	まなびいネットは「松戸市生涯学習情報提供システム」であり、現在は生涯学習に係る登録団体の活動情報を市民に向けて発信するものであると考えています。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
41	37	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができますようにします	<p>1目標が「委員会の設置」では意味がない。これは手段であって目的達成のための目標ではない。たとえば、中間あるいは最終報告を得るなど、目的達成のためのマイルストーンでなければならない。</p> <p>2生涯学習センターの目的や位置づけが不明確。よって計画策定委員会の方針・方向性が不明。課題の読み方によっては、施設再編といったハコモノ施策と捕らえられる。そもそも、生涯学習といった言葉には、学校教育や図書館なども含まれる。松戸市の生涯学習について、包括的指針のもとに、No.52も含めて検討してほしい。いずれにしても、計画段階で明確化すべし。</p> <p>3生涯学習センターの方向性が明確になることが、なぜ成果になるのか理解不能。最頁目にみても、成果（学習の場の提供）ではなく、成果達成のためのマイルストーンである。</p> <p>4検討委員会の委員報酬事業が課題や成果・目標の何に資するのか。まったく理解不能。むしろ、真の有識者が委員会を構成し、市民も巻き込んだ検討ができるようなことを考えたほうがよい。</p>	いただきましたご意見を参考に適切な記述をいたします。	有
42	37	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができますようにします	<p>図書館として広くて立派な設備は不要。（ロビーや勉強部屋の要素は不要。それらは自宅ですればよい）ましてや本館のみ立派にすることには何の意味もない。ハコモノ行政からの脱却を要望する。行政に期待するのは、見栄えではない。図書館には、ネットワークを最大限いかすなど、時代にフィットした便利で利用しやすい図書館機能を要望する。1)分館機能の充実を継続してほしい。（北松戸駅近くに1箇所ほしいが）2)蔵書の検索機能は、フィット率を高めるために、キーワードを増やすなど、もう少し機能を強化してほしい。3)ハコモノにかかる費用(=税金)は節約しても、蔵書にかかる費用は節約しないでほしい。予約順番が50番近くになるのは異常である。もし、時間がたって需要が少なくなれば販売してもよいと思う。</p>	いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
43	37	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	図書館を武雄市図書館の様にカフェと併設し、もっと利用されるような図書館を目指しては如何でしょうか。武雄市図書館みたいに新たにハードを造るのではなく、既存のハードを有効利用し、もっと気軽に本を読め、くつろげる環境があれば、若者は興味をもつと思います。	いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
44	37	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	市民自らが地域の課題に主体的に取り組むため、すぐやる課の縮小→中止にはいかがでしょうか。すぐやる課は行政へ負担をしいているように思われます。これからは、市民が主体的に考えることが重要だと思うので、名称の変更も含め検討してもいいのではないのでしょうか。	本市は、住民の要望にこたえるだけでなく、地域の課題を解決していくためには協働の視点を重視し、多くの市民の皆様と一緒にまちづくりに取り組むことが重要と考えております。そこで、平成25年4月に市民自治課を新設いたしました。すぐやる課は、市政についての要望等の緊急処理や連絡を迅速に行うため、設置しております。	無
45	37	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	近隣の諸市に、先進的な図書館が建設される中、松戸市は「谷間」になってしまいました。松戸市民は、市内をあきらめて、近隣の公共図書館を利用する人が増えているという情ない状況です。その町の「頭脳」であり、全ての市民にとっての生涯学習の拠点である図書館を整備することは未来への投資です。先ず、図書館整備計画検討委員会を設置することにより大賛成です。実現を期待しております。是非とも、一步を踏み出して欲しいと切望致します。	いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
46	37	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	P33 (No52) 目標に「図書館整備計画を市民参加で策定します」と入れてほしいです。	いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
47	38	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	No.53とNo.54は「◆子どもたち・・・」ではなく「◆社会教育と学校教育の協働を推進します。」とすべきだと思います。その上で、「◆子どもたち・・・」はNo.55の頭においた方がよいと思います。あるいは、もし53, 54, 55をまとめるなら「◆社会教育と学校教育の協働を進め、子どもたちが健全に社会参加活動ができるようにします。」とした方がよいと思います。	ご指摘の箇所は、まつど未来づくり会議の提言に基づいて「後期基本計画」に記載した内容です。今回「後期基本計画」の内容を見直しておりますが、ご指摘の内容につきましては、今後検討してまいります。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
48	39	3	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	スポーツをする人が利用する場所は運動公園だけではない。目標人数28万人というのは累計数であろうから、利用者は市民のごく一部であろう。(たとえば市内のスポーツジム利用者の累計数と比べればよくわかる)よく、市民の声として、不便だとか、他に比べて見劣りするとかの意見があるが、これらはごく一部の意見と見るべきである。目的と市民への波及効果を考え、運動公園は独立採算とすべき。そうすれば、受益者負担で立派な施設にできる。	受益者負担につきましては、今後の参考にさせていただきます。 なお、松戸運動公園など使用頻度の高い施設については、優先的に改修・整備等を進めていきます。	無
49	41	3	3	3	国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします	No.58、59の目標に「大幅に増やす」とあるが、大幅とは人によって受け取り方が違う。具体的な目標値を明示すべし。物事を計画するときには、絶対に使ってはいけない言葉と思う。	いただいたご意見を参考に具体的な数値目標を設定し、来館者数を増やすように努めます。	有
50	45	3	4	1	災害に対する不安を減らすようにします	手段の拡充だけでなく、現行手段の整備が必要では。支所の近くに住んでいるのに防災行政無線がよく聞こえない。	防災行政無線につきましては、H24～26年度の3ヶ年をかけまして既存の機器の更新(129基)と難聴と思われる地域に新たに90基を新設しているところです。しかしながら、それで必ず聞こえるようになるという訳ではございませんので、その補完手段といたしまして、現在、音声応答装置(フリーダイヤル)により放送の内容が確認できるよう進めているところです。	無
51	45	3	4	1	災害に対する不安を減らすようにします	1松戸市の防災計画には「富士山の噴火」に対する想定がなされていない。インフラを中心とした被害は地震の比ではないのに、東京都に比べてもその検討が大きく遅れている。東京との連携も含め早急に着手すべし。(No.64、65にも関連) 2帰宅困難者・駅滞留者対策が、なぜ松戸駅だけなのか理解不能。3・11のときの都内の駅の状況を理解しているのか。小規模駅でもこれらの人々があふれていた。新松戸駅他でも対策が必要であろう。松戸駅を含めたすべての駅での対策を要望する。そもそも、担当部課の計画は危機管理の基本がわかっていない政策が多い。猛省を促す。	①富士山の噴火による火山灰の降灰の本市の被害想定は、2cm程度と想定されております。噴火の際は、気象に基づく降灰に関する情報を収集すると共に、火山灰の除去等においては、道路及び環境等関係部署により対応してまいりたいと存じます。 ②駅周辺帰宅困難者・駅滞留者対策協議会の設置は、千葉県より、一日の鉄道を利用する乗降客数の多い、船橋、柏、市川、津田沼、千葉、西船橋、松戸駅が協議会を設置する候補として挙げられており、まず松戸駅の協議会を立ち上げたものです。今後につきましても帰宅困難者・駅滞留者の対策に努めてまいります。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
52	45	3	4	1	災害に対する不安を減らすようにします	<p>松戸市役所の防災組織を表に明確にして下さい。情報収集、伝達手段が9つあると記載されていますが末端の市民、町会、自治会等との接点が解るように再度公表記載して下さい。</p> <p>市民、町会、自治会等の防災計画には、地域特性を持っています。町会、自治会等の防災計画及び防災組織と、どのように公助である松戸市役所の防災組織特に情報伝達等のコンタクトを円滑に維持しするのですか、「めざす成果と目標」について御説明を戴きたいと思えます。</p> <p>3.11の時、国道6号線の状態から自動車車両、帰宅困難歩行者多数の対策についての表示がありません。</p> <p>町会、自治会等の地域に事業所を持ち毎日通勤し、勤務している方々が当町会には約20事業所380人ほど居ります、又通学している学生、児童等の対策についてどのような「取り組みと目標」を持っているのか表示がありません。</p> <p>町会の老人会に入会しているメンバーは把握していますが、老人会に所属していない独居老人、生活保護者等について地域社協民生委員等との連携共助の表示がありませんので「取り組みと目標」を明示して下さい。</p> <p>防災施設整備等に対する助成金等があることを知りました。</p>	<p>No.64 自主防災組織の活動にあたりまして、必要となる資器材購入のための補助金を交付しております。併せて、自助・共助が大切という観点から、自主防災組織の未結成および訓練未実施の組織につきまして、今後も啓発に努めてまいります。</p> <p>No.65 ご意見を踏まえ、9つある情報収集・伝達手段を欄外に明記いたします。</p> <p>No.66 松戸駅周辺帰宅困難者等対策協議会は、災害発生時、乗降客数の多い駅周辺における帰宅困難者等に対する支援、対応等について協議するものと位置づけております。</p> <p>なお、職場からの帰宅抑制施策に伴う、従来の児童・生徒の引渡し及び避難所となる学校と児童・生徒の帰宅を抑制された家族に対する安全確保のための対策につきましては、教育委員会・保育所・幼稚園等の関係機関と別途協議を進めていきたいと考えています。</p> <p>・松戸市における防災組織につきましては、「松戸市地域防災計画」震災編52ページに掲載しております。</p> <p>・避難行動要支援者（災害時要援護者）につきましては、避難行動要支援者避難支援業務担当部署において対応することとなっております。</p>	有
53	47	3	4	2	火災等の災害から市民生活を守ります	<p>住宅用火災警報機設置は火災予防対策ではなく、火災被害抑制策では。「火災予防対策」は抹消し、実態を表す他の言葉、たとえば「初期消火推進策」に変更したらいかがか。</p>	<p>「火災予防対策事業」は、火災原因調査技術を強化し、安全安心情報を配信することで、出火防止及び被害の軽減を図ること、また、防火対象物及び危険物施設それぞれに適した火災予防を講じるとともに、違反對象物には法令適法違反是正、危険要素排除の指導を行うこと。さらに、立入検査、防火指導等を通じて、火災予防啓発をすることとしており、「火災原因究明業務」「事業所火災予防業務」及び「火災予防普及啓発業務」を総括する事業名称となります。従いまして、対策事業の名称につきましての変更はありません。</p>	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
54	52	3	4	4	環境にやさしい地域社会をつくります	補助金を確保することは政策目標にはならない。(補助金を調達する役割を担った市役所職員の個人目標) 補助金の交付件数にすべし。	補助金を交付するためには、予算あつてのことではありますが、実際にシステムが設置、補助金が交付されてはじめて電力使用量が減少(温室効果ガス削減)されますので、交付件数に改めます。	有
55	53	3	4	4	環境にやさしい地域社会をつくります	P45 (No77) 3Rから2R(リデュース・リユース) への変更を求めます。リサイクルすれば良いという考え方は古い。「3Rから2Rへと施策を進めることができる」をめざす成果にする。	リデュース・リユースが大事なのはもちろんですが、リサイクルも必要であるため、広報活動等において3Rの優先順位を伝えていきます。	無
56	53	3	4	4	環境にやさしい地域社会をつくります	P45 (No78) 「地域のリサイクル活動に生ごみの資源化が始まります」をめざす成果にしてほしい。	生ごみの資源化については、個々の資源化に努め、補助金等の交付に努めています。	無
57	53	3	4	4	環境にやさしい地域社会をつくります	P46 「和名ヶ谷クリーンセンター」の長寿命化の前に、クリーンセンター再編? 「松戸クリーンセンター」の閉鎖を入れてほしい。 「廃棄物の焼却処理から資源化を検討します」をめざす。生ごみの資源化を考えること。	和名ヶ谷クリーンセンターを含む中間処理計画については、ごみ処理基本計画にお示した計画に沿って進めてまいります。 また、資源化についても、ごみ処理基本計画内の資源として活用する(リサイクル)ものとして計画に沿って進めてまいります。	無
58	54	3	4	4	環境にやさしい地域社会をつくります	生活上の不快感を減らしますここでの実施計画について、廃棄物の不法投棄(タバコや空き缶のポイ捨ても含む)を無くすための計画も策定して頂きたいです。何卒よろしくお願い致します!	廃棄物に係る不法投棄対策については、ごみ処理基本計画を基に対策の推進を図ってまいります。 また、松戸市安全で快適なまちづくり条例に基づき、喫煙マナーとモラルの向上を図り、市民にとって快適な地域社会を創ってまいります。	無
59	57	3	4	5	犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります	公民館の生涯学習体制の活用など、講座受講者を増やす方法も考慮してほしい。(まっど生涯学習大学を利用すれば一気に300人の受講者)これほどまでに社会問題化しているテーマなので、時間をかけない政策実施が重要と考える。	ご意見を参考にしながら関係課とも連携し、今後更なる受講者数の増を目指してまいります。	有
60	57	3	4	5	犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります	P48 (No84) 「消費生活展」が無視されている。今後の継続を検討するくらいは示してほしい。	消費者被害の防止のためには、相談事業、情報提供・啓発事業、教育事業等を多角的に展開することが必要です。重要な情報提供の場のひとつとして消費生活展を捉えております。	無
61	59	3	4	6	緑と花に親しむことができるようにします	P50 (No86) 「市民ニーズに合う公園」だけでなく「緑を生かした公園」をめざす。	対象公園の緑を生かす事をベースとして、市民ニーズに合った公園の再整備を行います。	有

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
62	59	3	4	6	緑と花に親しむことができるようにします	P50 (No87) 「来園者数を増やすこと」をめざすより、次の世代に「松戸の生態系・緑地を残すこと」をめざす。	市街地の中に残された貴重な自然。多様化した文化、レクリエーション活動に対応できる緑の空間。この公園の存在価値、利用価値を多くの皆さんと共有することで「松戸市に住んでよかった。住み続けたい。」と思えるような公園づくりを目指します。	無
63	61	3	5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	松戸駅ビルに松戸市は市としてどのようなスペースを確保し・活用していく予定ですか～市民には全く見えていません。 早い時期から市民の意見を取り入れていく必要があります。駅ビル自体は既に当たり前になっている時期に他所にあるのと似たり寄ったりの箱ものを作っても集客効果は薄く都内への流れは阻止できません作る以上は「オンリーワン～松戸市にしかない」あるいは「スーパーN01」をつくる必要があります。そこで提案ではAゾーン:「江戸川の河川敷きと周辺の空き地を利用した一大レジャー・スポーツ基地」(そこには「農産物・松戸ならではの商品の販売店舗」「レストラン街」「市民の集いの場」等を含みます)そしてBゾーン:「21世紀の森を活かした自然健康エリア」、Cゾーン:「博物館でのこどもの創作力育成エリア」を整備しこのABC「トライアングル・ゾーン」を松戸のホットスポット・1として実現します。このホットスポット・1は松戸市民の集う場所であり、市外から人を呼び集める場所となります。 市民のアイデアでホットスポット・2、3、と作っていきます。このプロジェクトは文字通り松戸市の行政各部門の協働がなければ実現しませんさらに国、県、民間(市民、農業、産業、観光)、諸団体(大学、JA、商工会等)の協働も必要ですから市をあげてのプロジェクトとなり、松戸市の夢・楽しさ・誇りづくり、産業育成・活性化に貢献できます。	松戸駅周辺まちづくり基本構想は、松戸市の中心地である松戸駅周辺の活性化を目的に、策定を進めております。 基本構想のメニューにおいて、駅周辺の商業集積地区やご指摘の江戸川周辺など、各地区における活性化に資する目標を立て、基本構想のメニューの推進を図ってまいります。 構想推進にあたって、市関係部署との連携は当然のことながら、地元や市民のご意見、また国や県、民間、大学等の関係機関との連携が不可欠であります。 そのために、基本構想の策定にあたっては、地元の方々や学識経験者を交えた委員会を設置し、基本構想の内容について、議論を進めていく予定です。 基本構想の実現化のために、産学官民が共通の目標を持ち、協働のまちづくりを推進してまいりたいと考えております。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
64	62	3	5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	<p>松戸の工業団地は、東京首都圏の地域的役割分担から生産基地の工場進出は難しく、考えにくい。生産工場撤退後の跡地は物通基地にしかなりえないと考えます。</p> <p>さらなる物通業者の進出は松戸地区の発展を妨げ、環境悪化、周辺交通網をマヒさせるような状況になると考えます。</p> <p>撤退工場の跡地は高層住宅化や病院、商業施設にできるような法制化を急ぐなど、新住民、新産業を誘致できるような環境整備をすべきと考えます。</p> <p>北松戸工業団地は、市民の娯楽としての位置付けも薄れている競輪場を廃止、再開発の先兵に、商業施設、高層住宅、病院等健康のテーマ産業を誘致することで、松戸が変わるイメージを訴求、が得策と考えます</p>	北松戸工業団地を含む、市内工業団地を中心とした企業の誘致につきましては、基本的な方向性を整理し、松戸市の地理的特長等を活かしながら、雇用の拡大や税収増加につながる事業所の誘致を市の施策として進めてまいります。	無
65	62	3	5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	公設市場の活性化、民営化～具体的にどのような施策を検討されていますか	貴重なご意見ありがとうございます。 市場の民営化により、迅速で効率的な業務処理や市場施設の有効活用、新しい事業展開など、自由な市場運営による活性化を促すと期待できることから、民営化に向けた事業者（場内事業者）との協議を十分に図るための検討会を発足します。	無
66	63	3	5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	<p>たかだか12億円の農産物出荷額に対し、農林水産業費3.4億円(H24予算)の税金投入はムダ使いとしか言いようがない。長年にわたり税金を投入しながら、衰退している日本農業の象徴。農業推進事業は即刻撤退すべし。安全・安心な農作物を消費者に提供するなら、全く別の方法があるはず。 (県内・県外の信頼できる農家の販売情報の提供など)</p>	<p>都市農業を守るためには、営農環境の保全並びに改善は必要と考えますが、施策が多岐にわたりますので、第5次実施計画として掲げた事業以外の事業の中で実施を検討していきます。</p> <p>また、農地面積、農家数ともに減少する中では出荷額の総額を増やすことは難しいと考えますので、[目標]の設定を変更し、消費者ニーズに応える質の高い農産物の生産を目指して取り組んでまいります。</p> <p>なお、東日本大震災による風評被害等を含めた放射能対策についても引き続き意を注いでまいります。</p>	有
67	64	3	5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	観光協会のホームページ更新になぜ補助金(=市税)を投入するのか。必要性がわからない。観光協会の職員でやればすむこと。	いただいたご意見を参考に、変更しました。	有

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
68	64	3	5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	観光に毎年約5,000万円の税投入をしているが、全くムダである。大観光都市東京に隣接する松戸に、東京同等・以上に魅力ある観光スポットが存在できるのか疑問。そのことは、観光パンフレット掲載の土産をみればわかる。(松戸らしさが無い。名前だけで中身は陳腐)他地域の人が魅力と感じているものを選択し、資源を集中すべき。(たとえば超有名ラーメン店を市内の主要駅周辺で臨時開業してもらうなど)	観光イベントの開催は、人を呼び込み地域経済活性化を目的としています。松戸花火大会などにおいては、多くの市民に楽しんでもらうことで「ふるさと松戸」を感じてもらえる郷土愛の醸成を目指します。	無
69	64	3	5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	1. 松戸市内で、富士山が見える場所が少なくなっています。全てを保全するのは難しいとしても、調査の上保全する箇所を見つけたい。 2. 松戸を活性化するために道の駅を作りたい。	関東富士見百景に選出されている戸定邸からの眺望が、市外の要因によって見えなくなりましたが、可能な限り眺望を保全できるよう関係部署と調整してまいります。道の駅につきましても関係部署と協議してまいります。矢切などでは地元団体が産直まつりなどを行っており、今後も地元の方々との連携を図ってまいります。	無
70	68	3	5	3	ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします	P58 (No109) 新松戸駅東側は西側とはちがった景観を大切にしたい街づくりをめざす方向へ。住宅ばかりの街づくりは魅力がない。	ご意見内容も含め、地元と協働で、将来の街の方向性などを見出して行きたいと考えております。	無
71	69	3	5	3	ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします	UR団地の再構築は、住民構造の改善、新住民の誘致、高齢者問題の解決での重要課題であり、しかも再開発の周辺市町村との競争でもあります。検討します、の段階ではなく、UR機構の施策に一日でも早く採用を交渉、まず常盤平から都市計画の具体化をすべき状況にあると考えます。専任担当、チームをつくり、早急に活動すべき施策と考えます。	本市では、松戸市総合計画後期基本計画に基づき、平成23年度からの3カ年を事業期間とする第4次実施計画において、地域の歴史や自然、景観に配慮し、大規模団地がある地域の若者から高齢者までが共に生き活きと暮らせるまちづくりのための諸施策の検討をするため、「魅力ある大規模団地等検討プロジェクト」を設置しております。常盤平地域については、このプロジェクトの一環としてUR千葉支社や地域の福祉関係者、行政などにより「常盤平団地等地域活性化協議会」を平成24年6月に設置し、協議を行ってまいりました。今回のパブリックコメント(案)にありますように今後とも協議を進める方向で検討をしております。この度いただきましたご意見については、このような協議の場や施策を進めるための参考意見として活用させていただきます。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
72	73	3	5	4	誰もが安心してスムーズに移動できるようにします	P61 (No118) 「都市計画道路の整備」より「都市計画道路の見直し」へ。	都市計画道路につきましては、社会情勢の変化などにより、その必要性に変化が生じてきております。そのため、道路の区間ごとに必要性の検証を行い、整備すべき路線と見直すべき路線の整理を行っているところです。なお、目標に掲げたような路線につきましては、整備の推進を図ってまいりたいと考えております。	無
73	74	3	5	4	誰もが安心してスムーズに移動できるようにします	1放置自転車対策の対象事業がコンクリート型事業ともいえるべき「自転車駐車場」事業しかない。放置自転車撤去の強化、周辺町内会への啓蒙など、ヒトへの施策も必要。 2放置自転車対策は「公共交通利用のしやすさ」の観点だけでなく、「安全で快適な市民社会」の観点からも考慮してほしい。すなわち、ルールを守らない地域社会は犯罪を誘発しやすくなることが知られている。よって防犯への観点から、ルール破りには罰則強化など、短期に実現でき即効性のある施策が求められる。	1放置自転車対策につきましては、市内16駅周辺で定期的に撤去作業を行っているほか、放置の多い駅では、放置防止指導員の配置時間を延長するなど、対策を強化してまいります。また、啓発活動につきましては、現在でも広報誌紙やホームページ等において呼びかけを行っておりますが、今後はより効果的な伝達手段を研究するなど、ヒトへの施策に努めてまいります。 2放置自転車対策といたしましては、「めざす成果」にも掲げましたとおり、安全で快適な市民社会の観点からも検討を進めるべきと考えております。また、ルールを守らない方に対する罰則強化に関しましても、移送保管料等の引き上げを含め、基本計画の策定にあわせて研究してまいります。	無
74	74	3	5	4	誰もが安心してスムーズに移動できるようにします	千駄堀に新駅をつくる計画ですが、北松戸ー運動公園ー21世紀の森の公園ー八柱間で巡回のバスがあれば十分だと思います。もし駅を造るのであれば、市民の足となる新京成線の八柱ー常盤平間がよいと思います。	新駅ありきではなく、「森のホール21」を中心としたアクセシビリティを向上させるため、バスを含めあらゆる交通手段として検討する中の1つでございますので、取り組み課題を修正します。	有
75	79	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	「いきいきと働く・・・職員の割合」のめざそう値について、28年度より32年度を悪化させる理由は何か。理由を明示すべき。もし、H24年度に最終目標が達成でき、これ以上は不要というなら、現状維持活動だけでよい。	平成32年度のめざそう値は、後期基本計画で定めためざそう値を掲載しております。第5次実施計画期間でのめざそう値は平成28年度のめざそう値となり、このめざそう値については、平成24年度の現状値を踏まえて設定しております。平成32年度のめざそう値については、第6次実施計画策定時に現状を踏まえ見直しを行う予定です。なお、平成28年度と平成32年度のめざそう値についての説明を第5次実施計画書の第3節「計画書の見方」に記載いたします。	有

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
76	80	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	官学連携事業が、官学癒着・利権構造・御用学者を生まないように、事業計画段階で市民の目が入る仕組みが構築されることを要望する。(くれぐれも、国の官学連携事業のようにならないように)	本市では、市内大学との間で既に多くの事業連携を行っておりますが、当該事業はそのような連携を更に強化する事を趣旨に、市民や職員の意識啓発を行う講演会、シンポジウムの実施を検討しております。いただいたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
77	80	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	私の誤解ならお許しいただきたい。過去年度のサマーレビューを見ると、目標値に対しての達成値(実績)がない。これで、事業の中間評価ができるのか、はなはだ疑問。	本市は、市の健全な財政運営を図りながら計画行政を推進するために、事業費見直しとしてサマーレビューを行っており、平成26年度以降も引き続き計画と予算が円滑に機能するよう取り組んでまいります。なお、計画の取り組み課題の目標における達成状況は、平成26年度に実施結果報告書で報告予定です。	無
78	80	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	中核市への移行が決定したかのような表現になっているが、移行は決定か。具体像は、いつ・どのような形で市民に公表されたのか。(選挙の争点になったという記憶もない。市のホームページにも情報がない) 以下は決定していない場合の意見。国や県との調整の前に、松戸市が考える中核市像を市民に提示し理解してもらうことが優先するのではないか。(国・県の思惑で事が進んではない) 文章的には、「様々な主体と情報共有し、国・県等との調整を図りながら・・・」が正しい。(主体が優先されるべき)	いただいたご意見を参考に、取り組み課題の記載内容を修正しました。	有
79	80	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	東京オリンピックの松戸市への持続的発展効果がさほどあるとは思えない。(東京外郭環状道路も完成しているだろうから)波及効果は、期間中の宿泊場所提供程度で、限定的で小さいものだろう。よって、さほど前屈みにならず(夢をいदै税金を無駄遣いせず)検討してください。	2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの開催効果については、隣接地としてどのような協力ができるか、また、第5次実施計画期間中にどのような取り組みができるかを関係機関とともに協議しながら検討を進めてまいります。検討結果に基づき対応を推進してまいります。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
80	81	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	作成するとされる戦略的な実施計画とは、何を示しているのか。第6次実施計画のことをいっているのか？。もし、そうであれば市民の意識調査だけでは不十分で、第5次で計画した事業の振り返りが必要である。その結果、事業の取捨選択も含めた資源の有効活用策が考案され、「戦略的」ともいえる実施計画ができるのではないか。その意味でも全施策について目標の具体化が必要。ちなみに、68ページNo.131の「ホームページ等運用・管理業務」は現状維持活動(戦術)であり、「戦略的」とはいわない。	ご指摘どおり第6次実施計画の策定を表現しております。いただきましたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。	無
81	81	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	広報活動ですが、松戸市は大きな都市のため把握しづらく情報の発信も多岐に渡ると思います。そこで市のアプリをつくり、市民が興味のある政策情報を受け取れるようにしては如何でしょうか。例えば、「子育て」「福祉」「教育」「災害」「景観」「まちづくり」など、アプリの中に各カテゴリーをつくり、自分が知りたい情報を受信できる。そのアプリ開発も、松戸市に本社がある企業を優先に決める。 市のアプリについての補足。調べた所、他の行政ではこんなアプリがありました。 http://matome.naver.jp/odai/2135915855755305301	貴重なご意見ありがとうございます。 近年、スマートフォン等のタブレット端末の普及によりさまざまなアプリが開発され、自治体においても観光情報、防災情報等のアプリの提供が始まっていることは認識しております。 広報事業を進める中で、さまざまある広報手段の一つとして検討して参ります。	無
82	81	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	市主催のWSなどに参加していますが、市と市民との距離を感じます。そこで、市役所内がいいかわかりませんが、市と市民との橋渡しの様な人を各政策に設けては如何でしょうか。どこの市でもWSをやっていますが、それが形式化し、やっていけばいいみたいに見えてきます。WSをやり、市の方で検討し、その結果が出て来て先に進んでいるように思います。市民ももっと自分の市に興味を持たなければいけないと思いますが、どうにもならないのではという諦めを感じているようにも思えます。また、これは職員への負担の軽減にもつながると思うのです。民間で得た知識をフル活用してもらい打開策をみつけてもらう。	第5次実施計画策定においては、後期基本計画の進捗状況を振り返り、それぞれの役割について検証する後期基本計画振り返りセッションを実施し、現状と課題等について市民の皆さまと確認し、それらも踏まえながら策定してまいりました。その際、市の担当者につきましても、各節ごとに担当を決めご対応させていただいたところで、今後においても、市民の皆さまとともに振り返りながら策定してまいります。また、ご意見の趣旨につきまして、今後の参考とさせていただきます。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
83	82	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	取組み課題と目標で、整合性がとれていないのでは。プレゼンテーション研修の理解が高度な知識・能力といえるのか疑問。(民間企業においては、プレゼンテーション能力は、ビジネスマンとしての基礎能力扱い)	プレゼンテーション研修は、企画や業務遂行のため、また市民への説明責任を果たすために必要なスキルの向上を図ることを目的として行っており、これは[取組み課題]を遂行する為に必要な要素を備えた研修であると考えます。その為、研修の効果を計るひとつの材料である、理解度を高めるということは、必要課題であると考えられます。また、市役所は非営利団体であることから、公務員に求められる「プレゼンテーション能力」と、民間企業に求められる「プレゼンテーション能力」とは異なる性質であると考えております。	無
84	82	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	めざす成果および目標の内容が抽象的で理解できない。給与水準を課題とするなら、評価と目標値を具体的なラスパイレス指数にすべき。	実施計画の取組み課題としては、設定しません。給与適正化の観点から、多角的な評価指標を用いて合理的な是正に努めてまいります。	無
85	82	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	課題・成果・目標の関連性がバラバラで、全く目的が見えない事業。松戸市への寄付を増やしたいなら、松戸市の「ふるさと納税制度」を魅力的なものにし、他地域からの寄付を増やせばよい。(逆に松戸市民のふるさと納税は抑制策が必要)	本市を応援したい、寄附したいと思っていただけるよう積極的にアピールしていくことの必要性は十分に認識しており、市内外問わず幅広く寄附していただけるよう研究して行きたいと考えております。	無
86	83	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	データセンター利用については否定はしないが、実施にあたっては、セキュリティについて業者の言葉を信用したものだけでは不十分。事前通知なしのセキュリティ監査を第三者の専門家に委託するなどのセキュリティ対策が必要。	データセンターの運用にはセキュリティは重要事項の一つであると認識しています。導入及び運用の要件定義等、十分に精査し事業者選定を実施する予定です。セキュリティに関する仕様も十分に精査し、稼動後もSLA (ServiceLevelAgreement) による管理を実施するなどチェック体制の整備を予定しています。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
87	83	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	IT推進課はビッグデータの言葉の意味を正しく理解しているのだろうか。（「今はやりの言葉を単純にいった」だけとは思わないが）オープンデータ（ビッグデータを加工したオープンデータも含む）活用には異論はないが、ビッグデータを行政が利用することには多くの問題がある。特に下記の2点はいつておきたい。1)ビッグデータの多くは、個人が意識していない個人データである。それは、個人のイベントによって発生するからであり、そのデータだけで個人を特定できないようでも、「他の情報と容易に照合することができることによって特定の個人を識別することができる情報」でもあるからである。その事例は枚挙に暇がない。問題は、ブラックボックスとなっている個人情報行政（＝権力）が自由に扱うことへの危険性である。2)個人情報保護法は民間が対象で、行政は対象外であり、行政では、個人情報保護が十分に機能していない可能性があること。確かに松戸市にも個人情報保護に関する条例があるが、内容的に甘い保護法以上にさらに甘いものとなっている。よって流出リスクにさらされる情報がさらに増大する。（ビッグデータは研究する価値もない）	ビッグデータの定義はまだ曖昧ではありますが、その活用の種類や規模は多岐にわたっています。気候データと利用状況などを組み合わせた道路の点検や補修優先度、また、商品流通データなどを利用した特産品の販路拡大などさまざまな可能性が潜在しています。個人情報保護については慎重に取り組み、どのような価値を生み出すことができるのか、その動向を踏まえオープンデータも併せ研究していきます。	無
88	83	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	第4次実施計画で同名の事業として計画された「情報システム全体計画」が策定され、それに基づいた事業計画であれば、具体的な事業の内容を記すべき。住民系基幹情報システムについては、平成23年度に全体計画が策定され、平成26年11月に稼動予定である。したがって、同システムは第5次実施計画の対象外とすべき（計画する意味がない）であり、いったい第5次で何の事業をしようとしているのか全く不明である。事業内容を明確にすべし。本事業(情報システム等活用事業)には平成25年度予算で約8.4億円が計上されているが、これを住民系基幹情報システムの再構築費と考えれば、「平成26年度の費用計画も承認されているはず」が理由である。	ここでは住民情報系の基幹系システムに言及するものでなく、その他のシステム総合的な運用や保守、セキュリティ等、安定稼動に向けた取り組みとなっています。また、平成25年度の情報システム等活用事業予算につきましては、住記・税・福祉関連システムの最適化事業のほか、基幹系・内部情報系システム、ホームページ、電子調達などの個別システム運用保守に係る総額の経費となっています。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
89	83	3	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	めざす成果に「より便利で利用者負担の少ない行政サービスを受けられる」とあるが、住基カードに比べ、行政からうける市民のメリットは国費負担によるカード発行料の無料化ぐらいではないか。預貯金などの資産把握や自営業者の正確な所得把握などに資するものでもなく、徴税アップにもならない。市民にとってのメリットは「公的個人認証サービスの民間利用」による民間企業が構築するサービスである。これは当然ながら、市が直接実現したり、また実現を保障するものではない。よって、本事業の成果は、「番号制度導入に対し、メリットとデメリット(リスク)を市民に正しく伝達し、新たな犯罪の抑制など、無用な混乱を起こさないこと」になると考える。	ご指摘いただいた成果については、重要な視点であるとは考えるところでありますが、制度稼働後のシステム及び業務の安定稼働に向けた成果として設定しているものです。なお、番号制度とその利用に関する情報については十分な提供がされるように努めていきます。	無
90	85	3	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します	取組み課題の内容から「行政活動の透明化」の事業ともいえると考えます。類似テーマは第4次計画でも「経済白書の発行」がありました。しかし、それは平成24年に一度だけ実施されたのみで継続されていません。(効果がなく中止したのか、もともと一回だけの予定だったのか、いづれにせよ「めざそう値」に寄与しない杜撰な計画といえます)本事業が同様に、一回こっきりのムダ事業にならないことを期待します。	松戸市は、公会計基準モデルの公表をしております。現在は22年度分の公表が遅ればせながら済んだところです。今後も集計次第公表することを目指しております。	無
91	85	3	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します	松戸市の人口動態をみると、高齢者人口の割合が増加し、若者の単身者が少し増加するものの、子育て世代になると流出しており、将来にわたり社会福祉等、十分な行政サービスが実施できるようにするためにも財源の確保を重要だと考えます。財源の確保について、行政として覚悟を持って歳入金額増の具体的な目標数値を掲げ、納税者人口の飛躍的増加、企業誘致等、効果的な対策を推進して頂きたいです。我々も無駄な補助金は受け取らず、沢山税金を納められるよう、納税者として最大限努めます!!何卒よろしくお願い致します!	松戸市のために行動していただけることに感謝申し上げます。今後とも受益者の負担を考慮し適正な価格設定や新たな歳入確保策を検討してまいります。	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
92	86	3	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します	<p>同じ防災拠点となるべき公共施設において、市役所本庁舎が建替えて、他の公共施設が再編となる理由がまったく理解できない。防災を考慮した老朽化対策というならば、市役所本庁舎も公共施設のひとつと捕らえ、互いの役割分担、耐久化・耐震化対策を検討すべし。(市職員が新しく綺麗な庁舎で働きたいといった心情はわかるが、これまで予算がないとあって市民が要望する事業を切り捨ててきたことを忘れないでほしい)</p>	<p>本庁舎も公共施設再編で検討する施設の1つであり、No.146の取組課題の内容を踏まえて建替計画を策定します。</p> <p>市の公共施設の耐震化は、計画的に進めておりますが、中でも現庁舎は耐震性が著しく低く、老朽化もしており震災が発生すると防災拠点としての重要な機能が喪失する恐れがあることから、建替計画を策定するものです。</p> <p>庁舎建替計画策定にあたっては、基本的機能に加え、市民サービスの向上、社会的ニーズへの対応を十分考慮し検討いたします。</p>	無
93	86	3	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します	<p>市役所、消防署、斎場等々の建て替え計画、その他でも充実改築が提示されていますが、経時による老朽化も誰も認めるところであります。しかし現在の財政状態、人口予測からの次世代を含めた負担能力を考えても、極めて思慮の少ない多額歳出の施策と考えます。</p> <p>多額歳出の設備計画は、住民投票に付し賛否を得ることとするなど、幅広く意見を求めた施策にすべきと考えます。</p>	<p>公共施設再編整備の検討にあたっては、財政への負担、人口構成や市民ニーズの変化などを考慮するとともに、市民と情報を共有し、市民の意見を聴取しながら取り組んでまいります。</p>	無
94						<p>・全体(めざそう値について)</p> <p>せっかく現状(24年度)や今次計画のめざそう値(28年度)がアップしているのに最終年度のめざそう値(32年度)がそれらよりダウンさせる箇所が多々ある。その理由の明示、あるいは最終年度値の改定を行うべきである。</p>	<p>平成32年度のめざそう値は、後期基本計画で定めためざそう値を掲載しております。第5次実施計画期間でのめざそう値は平成28年度のめざそう値となり、このめざそう値については、平成24年度の現状値を踏まえて設定しております。平成32年度のめざそう値については、第6次実施計画策定時に現状を踏まえ見直しを行う予定です。なお、平成28年度と平成32年度のめざそう値についての説明を第5次実施計画書の第3節「計画書の見方」に記載いたします。</p>	有

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
95						<p>・全体・課題表（事業計画）の目標について</p> <p>各課題表の「目標」に、一部を除いて具体的数値が示されていないものが多い。具体的目標値がないことは、具体的かつ有効な施策（事業）が設計できないはず（どれだけ投資して、どれだけ効果を期待するかが見えない）・計画期間内の進捗把握もできない。また実施過程での問題把握や解決もできないはず・故に、当計画のみならず、最終計画である第6次計画にも影響し、有効施策が打てないはずそもそも、第4次計画での事業振り返りをキチンとすれば目標値はでてくる。振り返りもせずに、第5次計画を策定した証左ではないか。具体的目標値を、仮説に基づくものでもよいので、すべての事業に設定すべき。</p>	<p>実施計画における目標値について、現状で数値目標として設定ができるものについては、可能な限り設定いたしました。</p>	無
96						<p>・全体・課題表（事業計画）の事業費について</p> <p>事業費も記されていないために、我々にとって投資対効果が全く不明である。これは、計画実施前において、その事業の有効性判断ができないことを示しており、そのような判断は「市民にはさせるな」ということか。有効性判断ができない計画は意味がなく、計画とはいえない。せめて、参考値としてでもよいので、概算あるいは第4次の事業費を明示すべし。（調整中というの理由にならない。明示する時期を記入すべし）</p>	<p>平成26年度予算編成中ということもあり、パブリックコメントでは調整中とさせていただきました。なお、実施計画事業について、年度ごとの事業費を記載いたします。また、3年間の総額については、年度ごとに記載いたします。</p>	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
97						<p>・パブリックコメント（意見募集）結果報告について</p> <p>第5次実施計画とは直接関係ありませんが、今後、本計画についてパブリックコメントと、その対応内容が掲載されると思います。そこで、「第4次実施計画素案への意見への対応表」を拝見したときの私見を述べ、第5次での対応に留意していただければと思います。第4次では、禁煙や受動喫煙等タバコについて、長文で内容が重複している意見が多く箇所で見られます。おそらく、一人の投稿者と思いますが、内容は偏見に満ちたものであり、非論理的・感情的・独善的だと思います。このような紙爆弾的攻撃で、結果、貴重な他意見が見えづらくなっています。（今回同様なことがあるかどうか分かりませんが）行政として、投稿された意見を掲載することはやむ得ないとは思いますが、別の場所に1箇所にとめるなどして、他意見の公開の妨害にならないようにしていただければ有難いです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。明らかに他の意見の妨害になるような内容などについては、対応を検討してまいりたいと思います。</p>	無
98						<p>総合計画は極めて長い長期計画であり、その間の環境変化はあらゆる場面で現れています。3年ごとに見直しをしていることでもあり、その間の取り巻く環境変化を提示し、行政活動の方針修正、転換を提案すべきと考えます。</p>	<p>第5次実施計画策定においては、後期基本計画の進捗状況を振り返り、それぞれの役割について検証する後期基本計画振り返りセッションを実施し、現状と課題等について市民の皆さまと確認し、それらも踏まえながら策定してまいりました。今後においても、市民の皆さまとともに振り返りながら策定してまいります。また、ご意見の趣旨につきまして、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
99						<p>基本となる人口設定がこの何次かにわたり下方修正となっている現実を直視、重点施策も従来の延長線上に考えるべきではないと考えます。歳入減は必至、置かれた環境でのやらなければならない項目をさらに絞り込み、優先順位をつけ、提示すべきと考えます。</p>	<p>現状を踏まえ、3年間で優先される事業を計画事業として位置づけております。いただきましたご意見を参考にしながら、事業を推進してまいります。</p>	無

松戸市総合計画 第5次実施計画(素案)についての意見と市の考え方

No.	頁	章	節	項	項名	意見の趣旨	市の考え方	案の修正
100						東日本大震災、福島原発事故は、予測しえなかった環境変化であり、これからも予測を超える天災、事故、周辺諸国との関係の突発、を考慮した施策、防災、減災に向けた取り組みは喫緊の課題となっています。冒頭に市民を守る行政活動の原点を明確に訴求した具体的施策を、明示すべきと考えます。	防災・減災に向けた取り組みにつきましては、「松戸市地域防災計画」におきまして、「災害予防計画」・「災害応急対策計画」・「災害復旧計画」・「大規模事故編」として記載してあるほか、緊急事態への対処として「松戸市国民保護計画」において記載しております。今後におきましても、松戸市民の生命と財産を守ることを念頭に取り組んでまいります。	無
101						財政状況（すべての債務実態）をもっと詳細に公開し、市税での重点施策実行の予算額の限界の説明が必要と考えます。交付金、補助金、国、県、市で分担しあう施策の実態を具体的に提示すべきと考えます。	毎年9月に「松戸市の財政状況」をホームページに掲出しておりまして、その中で債務の実態や各種比率等も公表しています。しかしながら、財源ごとの分担の実態というのは提示しておりませんので、今後どのように公開できるかどうか検討してまいります。	無